

2020年6月11日
シスメックス株式会社
神戸市
地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院
公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

神戸市、神戸市立医療センター中央市民病院、シスメックス 新型コロナウイルス感染症の新しい検査の臨床実装を神戸より発信 ～神戸医療産業都市の医療機関と連携し、早期の診断、重症化予測等による対策を強化～

シスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：家次 恒 以下「シスメックス」）は、神戸市（所在地：神戸市 市長：久元 喜造）、地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院（所在地：神戸市、病院長：木原 康樹 以下「神戸中央市民病院」）および神戸医療産業都市推進機構（所在地：神戸市、理事長：本庶 佑）と連携し、新型コロナウイルス感染症（Coronavirus Disease 2019 以下「COVID-19」）の再拡大へ対応すべく、新たに開発した検査の臨床実装に向けた取り組みをお知らせします。

シスメックスは、世界中の医療現場で行われている臨床検査の継続実施を支援し、COVID-19 拡大防止に尽力される医療従事者の皆様と共にこの困難を乗り越えることが使命と考え、「製品・サービスの安定供給」に取り組んでいます。また、COVID-19 の拡大防止および一日も早い沈静化に貢献するため、国内初となる新型コロナウイルス PCR 検査キット（RT-PCR 法）の薬事承認取得や、全国に先駆けて神戸市との産官連携による PCR 検査体制強化に加え、「新たな診断技術の開発」に積極的に取り組んでいます。 <https://www.sysmex.co.jp/COVID19.html>

国内最大級のバイオ・メディカルクラスターである「神戸医療産業都市」では、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対策強化に対し、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構の病院連携相談窓口による病院連携などを通じて、新型コロナウイルス感染症への対策強化に資する研究開発を全面的に支援しています。その中でも同医療産業都市内に位置する神戸中央市民病院は、第一種指定感染症病院として新型コロナウイルス感染症治療の中核を担っています。

現在、シスメックスと神戸中央市民病院は、上記病院連携相談窓口を通じて連携し、シスメックスが開発した新たな検査方法である、SARS-CoV-2 抗原検査、抗体検査、さらには免疫学的な病態生理検査法[※]に関して、積極的な臨床実装を進めております。すでに構築が完了している PCR 検査体制とも連携し、患者様の早期の診断や感染による重症化モニタリングのみならず、医療従事者の方々に対し、安心してお使いいただける最適な検査フローを構築していきます。

4 者は、COVID-19 再拡大の防止、第 2 波への備えとしての新たなモデルを、神戸より発信すべくこれらの取り組みの実施により、安心な医療の提供と人々の健康の実現に貢献します。

【注釈】

※ 病態生理検査法：

生体機能の破綻により症状や疾病が引き起こされる機序や経過を検査する方法。今回の免疫学的な病態生理検査法は、例えば、COVID-19 の重症化を引き起こす免疫関連物質の量を測定すること示す。

以上